

「みんなの広場」講話要旨

令和4年5月12日（木）

浜中町立茶内小学校長

前回、このような形で皆さんにお話をしたのは、4月7日の始業式でした。そのとき、「皆さんがどんな学級目標をつくるか楽しみです」というお話をしました。それぞれの学級に授業参観に行ったり、担任の先生がつくる学級通信を読んだりすると、どの学級でも素敵な「学級目標」ができあがったことが分かります。

そこで今日は、「目標」について、その中でも、今年度の茶内小学校で特に実現にしたい「目標」についてお話します。

茶内小学校の「目標」は、皆さんから見たらステージの左側に掲示してある「思いやりのある子 自ら鍛える子 進んで学ぶ子」です。この目標はとても大きな内容で、長い時間をかけて実現していく目標です。そこで、今年度の茶内小学校として、特に実現にしたい「目標」を考えました。それが「自分のよさに気付く子ども 役に立つ喜びを知る子ども 未来社会で活躍できる子ども」です。

「自分のよさに気付く」ためにはどうしたらいいでしょうか。そのためのキーワードは「向上心」です。つまり、自分自身を高めていこう、成長させていこうとする気持ちです。何か目標をもって努力する自分、成長しつつある自分を感じることができれば、自分のよさに気付くはず

です。それにより、気持ちが前向きになり、なかなか思うようにいかない厳しい現実にも直面しても、進むべき道を力強く切り拓き、困難を乗り越えていく気分が湧いてきます。難しいことに出合ったら「無理しなくていいんだよ」、「今のままでいいんだよ」と心がつぶやくかもしれません。そんなとき、「これでいいんだ」と開き直すだけでは、成長することとはできず、自分のよさに気付くことはできません。

「役に立つ喜びを知る」ためにはどうしたらいいのでしょうか。そのヒントは、先日行われた「1年生を迎える会」にありました。入場場面を思い出してください。6年生が1年生の手を引いて入場してきました。そのときの1年生の表情は安心感に満ち溢れていました。2年生から6年生が、1年生のために工夫を凝らしたパフォーマンスを披露しました。それを見る1年生の表情は楽しさに溢れていました。このときの2年生から6年生の皆さんの表情も緊張しながらも、どこか満足感、幸福感に溢れていました。人のために何かしたい、そして、相手が年下であろうと年上であろうと、相手を大切にしたいと思うとき、役立つ喜びを知ることができるのではないのでしょうか。

「未来社会で活躍する」ためにはどうしたらいいのでしょうか。ここでのキーワードは、「自分と仲間」です。皆さんは「人生100年時代を生きる子どもたち」と言われています。皆さんが社会人になるときは、今

とは全く違う社会を生きることになります。そこで必要なのは、どんな環境のどんな課題も自分の考えをもって解決しようと挑戦し、そして仲間とともに乗り越えて、持続可能な社会をつくっていくという能力を身に付け、意欲を育むことです。日常の授業はどうですか。自分から課題を見付けて友達と力を合わせて解決しようとしていますか。家庭学習は自分で計画を立て、自分の課題を克服しようとしていますか。予測不能な時代の中で自分らしく生きるためには、今何をすることが大切です。

「自分のよさに気付く子ども 役に立つ喜びを知る子ども 未来社会で活躍できる子ども」の実現に向け、様々なことに積極果敢に挑戦してみてください。皆さんの挑戦を私たちは心から応援しています。